

機器接続用同軸ケーブル（アプローチケーブル）のご紹介



- コネクタ取付け加工品を承ります。
- コネクタ取付け加工品のケーブル標準長：0.1m～5m
※5m以上は別途ご相談。
- ※8Dサイズ以上は5m以上可。
- ご注文時は、希望されるコネクタ型式の取付け可否をお問合せください。ケーブル品種によっては承れない場合がございます。

構造表

品名	内部導体		外部導体構造	被覆		外径	概算質量
	材質	本数/ 素線径		材質	色	mm	g/m
RG-58C/U	すずめつき 軟銅より線	19/0.18	すずめつき軟銅線 二重編組	PVC	黒	5.0	40
5D-WFLEX	銅単線	1/1.9	銅コルゲート	PE	黒	7.5	90
8D-WFLREX	銅単線	1/3.0	銅コルゲート	PE	黒	10.5	160
10D-WFLEX	銅管	1/4.2	銅コルゲート	PE	黒	13.5	180
WF-H50-4R(10D相当)	銅管	1/4.7	銅コルゲート	PE	黒	15.2	210
WF-H50-7R(20D相当)	銅管	1/9.0	銅コルゲート	PE	黒	26.8	470
1.5D-HQ・SUPER	軟銅より線	7/0.2	アルミマイラーテープ +すずめつき軟銅線編組	耐熱 PVC	黒	3.0	15
2.5D-HQ・SUPER	軟銅より線	7/0.32	アルミマイラーテープ +すずめつき軟銅線編組	耐熱 PVC	黒	4.3	30
5D-SFA-LITE	CA線	1/2.0	銅マイラーテープ +軟銅線編組	PVC	黒	7.5	60
8D-SFA-LITE	CA線	1/3.0	銅マイラーテープ +軟銅線編組	PVC	黒	11.1	130
10D-SFA-LITE	CA線	1/3.8	銅マイラーテープ +軟銅線編組	PVC	黒	13.1	165
12D-SFA-LITE	CA線	1/4.8	銅マイラーテープ +軟銅線編組	PVC	黒	15.5	225

※上記ケーブルの特性インピーダンス：50±2Ω、品名表記の「OD」の○は、概算の絶縁体外径です。

※曲げ安さは、内部導体と外部導体構造の項をご参考にしてください。

※被覆（シース）材料の耐薬品性については、下記資料（URL）をご参考にしてください。

<https://www.fujikura-dia.co.jp/pdf/tech/catalog-tech-info5-8.pdf>

減衰量、機械特性、使用温度について

品名	標準減衰量 (at 20°C) ^(注1)			許容 張力 N	許容曲げ 半径 ^(注2)		使用 温度範囲 °C
	920MHz dB/m	2400MHz dB/m	5200MHz dB/m		mm 固定時	mm 布設時	
RG-58C/U	0.550	0.970	-	33	20	50	-15~60
5D-WFLEX	0.189	0.317	0.488	147	25	100	-30~75
8D-WFLEX	0.128	0.213	0.320	196	30	120	-30~75
10D-WFLEX	0.090	0.158	0.235	245	35	140	-30~75
WF-H50-4R(10D)	0.069	0.120	0.192	490	70	140	-30~75
WF-H50-7R(20D)	0.038	0.066	-	1078	120	240	-30~75
1.5D-HQ・SUPER	0.690	1.110	1.83	15	18	45	-40~105
2.5D-HQ・SUPER	0.426	0.710	1.23	38	26	65	-40~105
5D-SFA-LITE	0.160	0.270	0.410	39	45	113	-15~60
8D-SFA-LITE	0.112	0.190	0.340	88	67	167	-15~60
10D-SFA-LITE	0.088	0.155	0.260	142	79	197	-15~60
12D-SFA-LITE	0.072	0.135	0.230	226	93	233	-15~60

注 1) 減衰量は、ケーブル単体の値で、コネクタは含みません。最大減衰量は標準減衰量の 115%です。

注 2) 許容曲げ半径について

ケーブルの種類 ^(注3)	許容曲げ半径		品名例
	固定時 ^(注4)	布設時 ^(注5)	
外部導体が編組構造のもの	ケーブル外径 の 4 倍以上	ケーブル外径 の 10 倍以上	-2V, -2W, -QEVE, -QEWE, RG-
外部導体に金属箔付プラスチック テープが使われているもの	ケーブル外径 の 6 倍以上	ケーブル外径 の 15 倍以上	-FB, -SFA, -HQ・SUPER

注 3) 銅コルゲート型同軸ケーブルなど上記以外のケーブルは個別に設定しています。

注 4) ケーブルを固定して長時間にわたって特性が保証できる曲げ半径

注 5) 布設中許容できる曲げ半径

